

会長挨拶

会長 菊田 惺志

共同チーム・利用者懇談会連絡会議の設置について

ご承知のように、SPring-8は平成9年の秋から一部供用開始に向けてその建設作業が急ピッチで進められています。当初に設置予定の10本の共同利用ビームラインの実験ステーションの建設に対して利用者懇談会の20のサブグループが協力しております。

このような状況にありますので、従来共同チームと定期協議などを通じて情報交換や意見交換を行ってきましたが、建設協力を円滑にかつ効率的に進めるためにはより緊密な協議が必要になってきました。7月に開かれた拡大世話人会の折の会員からの意見も考慮しまして、共同チームの利用系グループのスタッフと利用者懇談会の利用幹事・運営幹事が必要に応じて協議する場として連絡会議を設けることを共同チーム側に提案し、共同チームの賛同を得ました。この連絡会議には議題により関連するメンバーも参加し、共通に関心のある事項が議論されます。窓口は共同チーム側・植木氏、懇談会側・塩谷・菅両氏があたることになりました。

なお連絡会議の議事概要は運営委員会、幹事会で報告され、「光彩」に掲載されます。

第1回共同チーム・利用者懇談会連絡会議議事概要

日時： 9月18日（月）午後5：00～7：30

場所： 新神戸グリーンホテル

出席者： 共同チーム 大野、植木、瀬崎、石川
利用者懇談会 菊田、村田、塩谷、菅

- 議事
1. 共同チームから10月以降のSPring-8計画の推進体制が変更になる予定であるとの説明があった。
 2. 共同チームから放射光研究所の組織図（案）が示され、それについて議論した。
 3. 共同チームからビームライン建設費（総額68億円）について、ビームライン毎の建設費、利用系R&D経費、共通設備と予備費の内訳の中間まとめが示された。また第2期計画の概算要求を平成9年に行なうための作業を進めているとの説明があった。
 4. 装置が現地に納入されその立ち上げに懇談会のSGメンバーが多数参加する時期は、平成8年後半以降になるであろう。
平成9年度から供用が始まるので、それに間に合うように旅費支援の方策が決められる必要がある。